

昭和三十年代の交通



左上と左下は国道17号線の写真です。道路は舗装されていますが、縦横に線が見えます。これは、コンクリートを使って舗装した道路です。長い板を使って四方を囲んだ中にコンクリートを流し入れ、コンクリートが固まってから板をはずすという作業を繰り返して道路を舗装しました。道路にはバスやオート三輪が多く、自家用車は現在ほど普及していませんでした。

右上は前橋駅前通りの写真で、オートバイや昭和33年（1958）に発売された当時大衆車として人気の高かった軽自動車が写っています。

路線バスの年間輸送人員は昭和30年代後半にピークに達します。その後、昭和40年代に入ると、自家用乗用車が普及はじめ、路線バスは衰退していきます。